

「towel sommelier news」 vol.7 より（2011年11月 四国タオル工業組合発行）

私って、タオル命！

名誉タオルソムリエ／室井 滋（女優&エッセイスト）

この度、“名誉タオルソムリエ”というとても楽しい称号をいただき、心より御礼申し上げます。

日頃タオルフェチを自負する私にとって、こんなに嬉しいことはありません。

私がこのステキなソムリエに就任させていただききっかけになった“あの日”のことを、まずは簡単にご報告申し上げます。

この発端は、この夏に催した私の絵本『しげちゃん』（金の星社）のサイン会です。

池袋西武デパートの中の書店に多勢の皆さんが集まって下さり、その大盛況だったことに気をよくした私は、帰り際に店内をブラブラウインドーショッピングして回っておりました。

そこでハッと目についたのが、この夏大流行したお洒落ステテコの傍にあった、タオル地のポーチでした。

一辺が約20cm程の正方形のタオルハンカチが二つ折りになり、その周囲にファスナーが付いている。開けばハンカチ、閉じればミニポーチ、半開きにしてドリンクを入れれば冷温をキープするボトルホルダーにもなる優れ物でした。

しっかりとした素材、色や柄もセンスが良くて私はすぐに飛びつきました。

色違いを二種類買って、今度はそれを持ったままラジオの収録に出掛けたのであります。

「ウフフ、私ってばさ、凄くいいものを見つけちゃったあ。ほ～ら、これ、見てえ」

買ったばかりのタオルポーチを見せびらかし、さらにその片方をプレゼントした相手は落語家の立川志の輔師匠でした。

私達は富山の出身でありまして、地元KNBラジオで『志の輔・シゲルのてるてるしげしげ』というラジオ番組を三年前からやっているのです。

師匠はポーチを手にするや否や、キュートな“今治タオルマーク”を見つけ、「オッ！」と言いつつニヤリと笑い顔を浮かべ…。「やっぱりこれ今治やろ？こんなにしっかりしたの今治しかないと思うたちゃ」と、何やら自信満々の“ドヤ顔”で呟き続けられるではありませんか！？

ラジオの収録は富山弁たっぷりにすでに始まっていたけれど、私はそんなことおかまい無しに、師匠にまくしたてたものなのです。

私：「何け～、志の輔さんのその“ドヤ顔”！ プレゼントしとるんは私の方ながに、何でそんなに自信タツプリにするがけ？」

志の輔：「いやいやいや、アハハハハ。

まあ、ちょっとね。それにしても、さすが今治、便利で、お洒落で、こんなに肌ざわりも良くて。ムロイちゃんもタオルとかって好きなんけ？」

私：「好きどころか、私なんて常にタオルとかハンカチとかが体の周辺 20cm 四方にないと落ち着かんもんね。毎日仕事場には必ず大判バスタオルを一枚、フェイスタオルを一枚、ミニタオルにハンカチも一枚持ってくるもんね。ウフフ、凄いタオルフェチよ。」

志の輔：「風呂に行くんやない、仕事に行くのにけ？ドラマでしょっちゅう入浴シーンがムロイちゃんにあ…る…かぁ？（笑）」

私：「そりゃあ、『水戸黄門』で人気の由美かおるさんの入浴シーンなんかじゃあるまいし、私の入浴シーン、ガハハハハ。いや、そうじゃなくって、私、控室で横になる時に、あたかもビーチに寝そべるみたいにバスタオル敷いてくつろいだり、仮眠とる時に、お腹に掛けたりね。フカフカの今治タオルなんかを顔に乗っけると、撮影での張りつめてた緊張が瞬間にほぐれていくがです。束の間の安らぎは、私の場合、タオルなくしては考えられんがいちゃいねえ。」

志の輔：「やっぱりタオルが好き？」

私：「はい、大、大、大好きながいちゃ！」

私はマイクに向かって“タオル命”を連発したのであります。

すると、その数週間後に、今治市の“今治タオルプロジェクト”という所から“名誉タオルソムリエに志の輔さんからのご推薦が”という思いがけぬお話をいただくではありませんか！？

ラジオの中での彼のドヤ顔の理由がようやく分かりました。何と、志の輔師匠御自身がソムリエだったということです。そして、手拭いやタオルが絶対に必要な寄席の仕事をする人には、確かにふさわしいかもしれぬと、今さらのように納得して、私は一人頷いたのであります。

さて、書類を拝見すれば、実はタオル検定試験というとても難しい試験を合格なさった皆さんがソムリエの称号をもらわれているとのことや、多勢の方々がタオルに情熱を傾けていらっしゃることも知りました。

好きという以外に特別な知識もない私が皆さんのお仲間に加えていただくのは正直申し訳ない気がしました。

それでも加えていただくということで、様々なタオルの情報を得たり、ひょっとして憧れの、今治タオル見学をさせてもらえるかも！？と、タオルフェチならではの欲望がムクムク頭をもたげてしまうのであります。

甚だ図々しくはありますが、今回のお話をありがたくお引き受けしようと思った次第でございます。

タオルを愛してやまぬ皆さま、どうぞよろしく願い申し上げます。